

会議録(案)

会議の名称	男女平等参画推進委員会 令和8年度 第1回
開催日時	令和8年5月26日（火曜日） 午後6時15分から8時00分まで
開催場所	田無第2庁舎4階 会議室2
出席者	出席：笹川委員長、平副委員長、安田委員、山辺委員、鈴木委員、高岡委員、橋本委員、和田委員、辻委員、小川委員 欠席：尾崎委員、岩本委員、星委員、中村委員 事務局：河野課長、樋口係長、渡邊主任、玉根主事
議題	1 議題 (1) 令和7年度第5回男女平等参画推進委員会 会議録(案)の承認について (2) 第5次計画実績評価報告書について ア 令和6年度実績評価報告書について イ 令和7年度実績評価について 2 その他
会議資料の名称	・令和7年度 第5回男女平等参画推進委員会 会議録(案) ・【資料1】西東京市男女平等参画推進委員会委員一覧 ・【資料2】令和7年度担当課評価 ・【資料3】第5次計画の評価スケジュール(案) ・【資料4】委員評価基準について ・【資料5】第5次計画体系図 ・【資料6】第5次計画評価担当(案) ・【資料7】令和8年度 男女平等参画推進委員会 開催日程
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
【開会】 ○事務局：これより第1回男女平等参画推進委員会を開催する。 部長より新委員に委嘱状を交付と【資料1】に沿って委員挨拶 事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。 事務局より配布資料の確認をした。 1 議題	

(1) 令和7年度第5回男女平等参画推進委員会会議録の承認について

○委員長：お手元にある会議録をご確認いただいて、ご意見を伺いたい。

(黙読)

○委員長：ご意見のある方は発言をお願いしたい。

ご意見がないので、この内容で決定とする。

(異議なし)

(2) 第5次計画実績評価報告書について

○委員長：「第5次計画実績評価報告書について」、アの令和6年度実績評価報告書説明をお願いします。

○事務局：実績評価報告書について報告。

担当課評価が空欄になっている箇所があった。担当課に確認したところ、単に未実施ということではなく、該当する事業を実施する必要性がなかったということだった。そのため、内部で協議を行い、項目から削除した。

○委員長：この件について、ご意見はあるか。

○委員：実施する必要のない事業を目標として設定していたのか。

○事務局：そのとおりである。

○委員：このようなことが今後起きないようにしてほしい。

○事務局：了解した。

○委員：担当課評価と委員会評価が見つらいため、レイアウトの調整等できないか。

○事務局：調整する。

○委員：評価の分析を追加することはできないか。

○事務局：今後取り入れられるようにしたい。

○委員：承知した。

○委員長：ほかに意見はあるか。

(意見なし)

意見がないため第5次計画令和6年度実績評価報告書は以上とする。

○委員長：次に、イの令和7年度実績評価について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：令和7年度実績評価については、資料2の担当課評価結果の内容を確認し、次回の委員会でご議論いただきたい。

スケジュールについては、資料3を参照していただきたい。令和8年度においては、10月の委員会までに評価を確定していくスケジュールで進める。評価の流れとしては、本日の会議で各課からの実績評価を確認し、評価グループの決定後、第2回会議までに各課の実績評価の仮評価を各々で行い、第2回会議で評価内容をまとめる流れを予定している。

○委員長：この件について意見はあるか。

○委員：来期委員を継続できない可能性があるため、第3回の委員会に出席できない場合、評価については問題ないか。

○事務局：第2回の会議で評価をまとめる予定のため、評価については問題ない。

- 委員：承知した。
- 委員長：ほかに意見はあるか。
- （意見なし）
- 委員長：続いて、評価方法について説明をお願いします。
- 事務局：資料4をご覧いただきたい。評価については、A～Dの4段階で同一の評価基準を使用する。評価内容については「評価できる点」と「改善点・課題など」を記載する形式とする。評価項目は資料5の体系図を確認していただきたい。
- また、資料6の評価の担当案をご覧いただきたい。
- 施策ごとに個人が評価担当を割り振られて評価を行うものが案1、基本目標ごとにグループで評価を行う方法を案2とした。
- 案1・案2のいずれの場合も評価表を事前に配布し、6月末を目標に取りまとめを行う。7月の会議でご議論いただく流れで進める予定である。
- 委員長：ご意見はあるか。
- 委員：案2のほうが評価について他の委員の意見も聞けて良いのではないか。
- 副委員長：案2に賛成する。会議の時間で話し合いが終了できるかが懸念である。
- 委員：各グループに責任者を配置し、責任者がまとめるようにすればよいのではないか。
- 委員：時間が厳しいのであれば、各重点項目のみグループで話し合うというのはどうか。
- 委員：評価について話し合う会議を増やすことができるのか。
- 事務局：評価する回数を増やすことはできるが、評価を予算に反映させるタイミングが合わなくなる。
- 委員：今年スケジュールで試験的に運用し、評価を予算段階で反映できる仕組みが望ましいのではないか。
- 副委員長：6月末に事務局から評価を取りまとめたものを受け取り、7月の会議で議論・整理する形で進めていくことではどうか。
- 事務局：問題ない。
- 委員：評価する際の資料としては今日もらった資料以外にあるのか。
- 事務局：この資料のみになる。
- 委員：この資料の内容だけでは、評価方法が分かりづらい。
- 委員長：これまでは、各委員が独自にホームページ等を参考にしながら追加でデータを確認し、評価を行っている。
- 委員：承知した。
- 副委員長：案2はグループごとに評価をまとめるということによろしいか。
- 事務局：問題ない。
- 副委員長：第3回の会議で初めて評価をする委員がいることを考えると、案2のようにグループで決める方がよい。
- 委員：案2で進めることには賛成だが、グループだけで評価をするのではなく、個人で担当の施策を評価し、その評価をグループで話し合うのはいかがか。
- 委員長：案2を基本としてグループ内の評価を行い、個人でも施策を評価し、その評価をグループ

で話し合う進め方でよいか。

(異議なし)

○委員長：それでは進め方はこちらで決定とする。

ほかに意見はあるか。

○副委員長：委員会評価の基準を統一する必要がある。

事業を実施したことをもって担当課評価が A となっているが、委員会評価についても同様の考えでよいのか。

それともやっただけでは委員会評価は A にしなくてもいいのか。こちらの評価方法を統一しなければならない。

今回は目標が実施であるものは A 評価とするが、来年からは具体的な数字が実績にない場合は A 評価にはしないということを担当課に伝えることはどうか。

(異議なし)

○副委員長：それでは評価基準についてはこちらで決定とする。

○委員長：ほかにいかがか。

○委員：委員会評価を事務局に返す際に、評価をする際にどのような資料が欲しいことを記載し、7 月の会議までにいただき、第 2 回の会議でその資料を加えた評価をするのはいかがか。

○事務局：それでは昨年度と実績が同じものなのに評価が違う理由、また評価の根拠など担当課にしたい質問を 6 月の中旬までにいただく。6 月の末までに皆様の評価をいただき、7 月の委員会前にお答えできる範囲の質問の答えを皆さんに共有させていただく。こちらでいかがか。

○委員長：了解した。

何かご意見はあるか。

(意見なし)

○委員長：それでは第 5 次計画実績評価報告書については以上とする。

2 その他

○事務局：次回の会議は 7 月 28 日火曜日となる。

改選の案内を行う。

パリテ講演会について告知する。

○委員長：第 1 回男女平等参画推進委員会を閉会する。